

生前整理アプリ

もしもの備え

高齢者が元気なうちに持ち物や財産を整理する「生前整理」は「もしも」の時の備えとなるが、なかなか手を付けられないというのが実情ではないか。手軽に生前整理のできるアプリを開発した業者が、アプリ活用を促すために岐阜県内などの寺で、高齢者向け無料スマホ教室を開いている。デリケートな課題に前向きに取り組みると参加者からも好評だ。

(大堀瑠美)

業者は「リードライフ」(名古屋、伊藤清文社長(52)は親会社の墓石クリーニング事業に携わるうちに、葬儀や相続でのトラブルに何度も接し「生前情報の整理が大切」とアプリ開発を思い立った。

同社の生前整理アプリでは、無料で自分の身辺情報や思い出の写真、有料で財産や



「リードライフ」の生前整理アプリの有料版画面

葬儀、遺言の情報を記録、保存できる。財産情報だけでも預貯金、株式など細分化されており、書き込んだ情報は家族などと共有可能。有料コンテンツは死後のみ開示できる仕組みだ。スマホアプリはアンドロイド用で、パソコンで利用できるウェブ版もある。生前整理では元来、紙に記録する場合が多く、近年は「エ

県内の寺で高齢者スマホ無料教室



ンディングノート」も浸透している。ただ、紙では紛失や改ざんの恐れも。伊藤社長は「アプリなら思い付いたときにすぐ書き留めることができ、機密性も高い」と利点を挙げる。

高齢者が講師からスマホの使い方を教わる「リードライフ」の教室＝岐阜市加納新本町、西方寺

話以外の機能を使いこなせない高齢者が多いため、昨年からはスマホ教室をスタートした。場所を寺にしたのは、地域に開かれていて高齢者も訪れやすいから。岐阜市加納新本町の西方寺で平日午後1時に開かれた教室には、70〜80代の7人が集まった。講師の3人が、日常でよく使うスマホの機能について説明し、文章の打ち方、写真の撮り方、アプリのインストール方法を順に指導した。

参加した各務原市の野口義朗さん(79)は「スマホを持って10年になるが使いこなせていなかった。アプリの内容にも興味があり、いい機会になった」と笑顔。寺にとっても地域の人々とのつながりができるといふメリットがあり、西方寺住職の田中大就さん(34)は「寺に足を運ぶきっかけになる」と話す。

同社は今後も岐阜県内などの寺で教室を開催していくといい、伊藤社長は「スマホは便利なコミュニケーションツール。気軽に寺で操作を教わり、生前整理アプリも使ってもらえたら」と話している。

財産情報細分化 * 高い機密性